

Python Hack-a-thon #2 Django ハンズオン

事前にインストールしておくもの

- Python 2.5 以上
- Django 1.1

ゲストブックアプリを動かしてみよう

サンプルのゲストブックアプリケーションを動かしてみます。

startproject

はじめに、アプリケーションを動作させるためのプロジェクトを作成します。

ターミナル(or コマンドプロンプト)から次のように入力します。

```
django-admin.py startproject プロジェクト名
```

プロジェクト名は半角英数で入力してください。アンダースコアは利用できます(Pythonのモジュール名として有効な名前を利用したほうが良いです)

プロジェクト名とアプリケーションの名前が同じにならないように注意してください。

日本語を含むパスでは、うまく動作しないことがあります。

これで、プロジェクト名のディレクトリが作成されます。

インストールの仕方によっては django-admin.py が django-admin になっているかもしれません。

プロジェクトの設定を行う

プロジェクト内の settings.py を編集します。編集項目は以下の通りです。

```
import os
BASE_DIR = os.path.dirname(os.path.abspath(__file__)) # プロジェクトディレクトリを取得

DATABASE_ENGINE = 'sqlite3' # データベースエンジンはSQLite3
DATABASE_NAME = os.path.join(BASE_DIR, 'data.db') # データベースファイル
TIME_ZONE = 'Asia/Tokyo' # タイムゾーンは東京
LANGUAGE_CODE = 'ja' # 言語は日本語
```

アプリケーションを追加する

guestbook アプリケーションをプロジェクトのディレクトリにコピーします。続いて settings.py の INSTALLED_APPS に guestbook を追加します。一緒に Django の管理アプリケーションもインストールしておきます。

```
INSTALLED_APPS = (
    'django.contrib.auth',
    'django.contrib.contenttypes',
    'django.contrib.sessions',
    'django.contrib.sites',
    'django.contrib.admin', # これを追加
```

```
)  
'guestbook', # これを追加
```

これでアプリケーションをプロジェクトに追加できました。

アプリケーションのURLを有効にする

アプリケーションのURLを有効にするため、プロジェクト内の `urls.py` を編集します。 `urls.py` を次のように書き換えます。

```
from django.conf.urls.defaults import *  
  
from django.contrib import admin  
admin.autodiscover()  
  
urlpatterns = patterns('',  
    (r'^admin/(.*)', include(admin.site.urls)),  
    (r'', include('guestbook.urls')),  
)
```

データベースへ反映させる

インストールしたアプリケーションのモデルをデータベースに反映させます。ターミナルで以下のコマンドを実行します。

```
python manage.py syncdb
```

管理ユーザの作成を聞かれた場合、作成しておいてください。

これでデータベースへの反映ができました。

開発用サーバを起動して動かしてみる

開発用サーバを起動するには、ターミナルで以下のコマンドを実行します。

```
python manage.py runserver
```

デフォルトでは `127.0.0.1:8000` で起動します。

Webブラウザから、 <http://127.0.0.1:8000/> にアクセスするとゲストブックアプリケーションを利用できます。

管理画面は <http://127.0.0.1:8000/admin/> でアクセスできます。